

特集

中学生議会……………④～⑥

- 町長・議長年頭の挨拶 ……②～③
- 職員募集 ほか ……⑦
- 葛川フォトコンテスト ほか ……⑧～⑨
- まちのわだいアラカルト ……⑩～⑪
- みんなのひろば ……⑫～⑬
- ヘルシークッキング ほか ……⑭

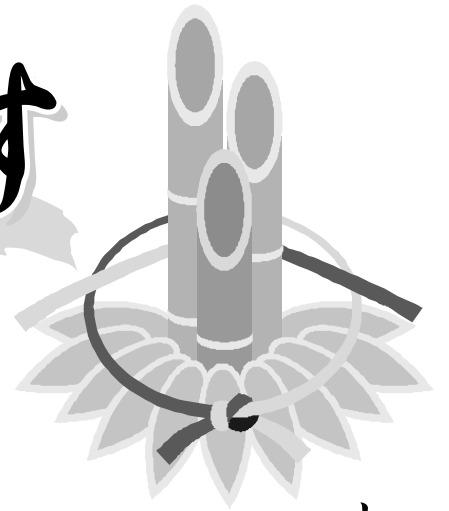


「いじめ撲滅」緊急アピールを採択

11月22日（水）に開催された中学生議会で、中井中学校生徒会から「いじめ撲滅」緊急アピールが提案されました。「いじめのない学校・中井町を作る」と決意する同アピールは、全会一致で採択されました。 ※写真は、同アピールに拍手で賛同する中学生議員と傍聴していた同級生

おめでとうございます

年新春



中井町長

尾上 信一



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から町政運営にありまして、温かいご理解とご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年10月の町長選挙におきましては、無投票当選の栄を賜り、再度町政の舵取り役を担わせていただくことになりました。改めて責任の重さを感じ、身の引

き締まる思いでございます。

初めの4年間は、「人づくり・道標づくり・魅力づくり」を念頭に、先ず、少子化対策として小児医療費無料化を小学校終了時まで拡大したことをはじめ、生活関連道路や町道砂口南が丘線の道路整備、全ての学校施設の耐震化事業などを実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりのために、一步一步着実に実行してまいりました。

さて、昨今地方自治体を取巻く情勢は、厳しい財政運営に加え、少子高齢化、環境保全、教育問題、市町村合併等、社会の急激な変化に伴って様々な課題が発生し、依然として厳しい行財政運営を強いられており、時代に即応した柔軟な組織体制づくりが求められているところでもあります。

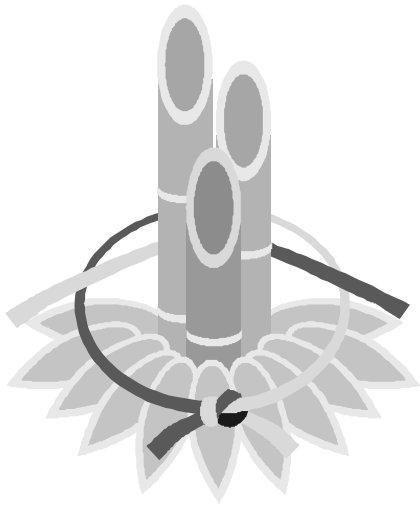
こうしたなか、私は、第四次中井町行政改革大綱の着実な実行に努め、危機意識と一層の改革意志を持って、創意工夫をしながら行財政改革を職員と一丸となり、積極的に推進してまいります。

さらに、町の最上位計画であります第五次中井町総合計画の将来像「水と緑、人がきらめく住んでみたいまち」の実現を目指し、自然環境保全、少子高齢化対策、生活基盤整備、定住促進方策など、計画に掲げた施策の着実な実現に努めてまいります。

今年、長年の懸案でもありました井ノ口保育園移転新築事業など、安心して子育てができる環境づくりと、土地の有効かつ高度利用を促進し、財政基盤の強化を図ることを重点に取り組んでまいります。

また、市町村合併の問題につきましましては、地方分権の進展で、基礎的自治体の役割強化や少子高齢時代の財政運営など、将来の町の状況をしっかり見据え、議会をはじめ町民の皆様と十分議論を重ねてまいりたいと考えています。

終わりに、新しい年が皆様にとって幸多い年になりますよう、お祈り申し上げて、新年のあいさつとさせていただきます。



新年あけまして

平成19

中井町議会議長

相原啓一



新年あけましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日頃より、町議会に対しまして深いご理解とご支援を賜りながら感謝申し上げます。

昨年は、児童虐待や、いじめによる自殺など尊い命が失われ、子どもが被害者になる痛ましい事件、事故が全国で相次いでおきました。

子ども達が安心して学び、遊び、生活していくためには行政、

学校、地域、家庭が力を合わせることが必要不可欠です。

本町では昨年11月に中学生議会が開催され、中学生自ら「いじめ撲滅緊急アピール」を採択して、命を大事にし、人権を尊重しあい、思いやりの精神をもって生活していくことを誓いました。中学生自らが心身ともに鍛え、成長しようとする真の姿に、深く感動を覚えました。

昨今、厳しい財政状況を踏まえ、多くの地方自治体では、議会議員の定数削減が行われています。本町議会でも本年4月の統一地方選挙より議員定数を2名減らし、14名に致しました。

また、全国で市町村合併がさらに進む中で、本県でも、神奈川県市町村合併推進審議会より、政令市を除き、人口30万人以上の中核市相当となる、6圏域の枠組みによる合併案が県知事に答申されております。市町村合併は町の将来を大きく左右する問題ですので、議会でも慎重に対応してまいりたいと存じます。

地方分権時代を迎え、議会の



テレビからも
新春の挨拶をお送りします

●tvk新春特別番組
「2007かながわてれび年賀状
～市町村長新春挨拶～」

1月3日(水) 6:30～6:45

果たす役割が益々重要になってまいりますので、町民本位を念頭に、効率的、効果的な行財政運営の中で、自立した町づくりを進めるには、慎重な議案審議はもとより、議会議員自らも政策立案能力を高め、町民の皆様と力を合わせて、安心、安全な住みよい町づくりを、議員一同誠心誠意努力してまいります。最後にになりましたが、町民の皆様のご健勝を祈念致します。年頭のご挨拶といたします。

中井町中学生議会

11月22日(水)、町議会議場で3回目となる中学生議会が開かれました。議会には、中井中学校3年生13人が議員として出席し、議員以外の3年生約60人が傍聴席などで中学生議員と町側のやりとりを見守りました。

本会議では、野地高史議長の進行により、12人の議員が順番に登壇し、質問が出されました。また、質問に対して、尾上町長をはじめとする執行部が答弁した後、全議員から再質問が行われ、なかには、複数の議員から鋭い再



質問が出るなど、通常の町議会さながらの活発な議会となりました。

すべての質問が終わった後、生徒会長でもある清水菜摘議員から提案された「いじめ撲滅」緊急アピールが、全会一致により採択され、中学生議会は閉会となりました。主な内容は次のとおりです。

住民運動について

梅津文香 議員

問 中井町では今までにイニシアチブやリコールといった住民運動がおこったことがありますか。

答 今まで、イニシアチブやリコール等の住民運動はありません。

中井町の開発による雇用について

市川雄基 議員

問 グリーンテクナカイの開発によって、町民が勤めることができるようになったのでしょうか。私たちの将来の勤務地になればありがたいと思うのですが。

答 グリーンテクナカイの開発によって、町内での就労者数は約2倍に増加しましたが、町民の就労者はあまり増加していない状況です。これからも多くの企業が中井町で新たに事業を営

み、町民が就職する時の選択肢が増えるよう、町としても努力していきたい。中学生の皆さんには、将来、ぜひ町内にある企業に勤めて、町の発展の一翼を担っていただきたいと期待をします。

町の合併について

曾我雛子 議員

問 この先、中井町が近隣の市町村と合併することはあるのでしょうか。

答 中井町は現在、合併することは決めていませんが、住民生活の向上のためにどのような選択をしていくのかなど、色々な角度で研究をしていきます。また、町民にも色々な情報をお伝えして、町民の声や考え方も十分把握した中で、町の方角付けを決めていきます。



再質問をする曾我議員

を考えていますか。

答 若い世代が住みやすい環境作りをすることを考えています。そのために、小児医療費の無料化や学校などの防災・防犯対策といった子育て支援を積極的に進めています。

町作りの方針について

夏莉恭平 議員

問 今後、どのようなまちづくりを目指していますか。方針や目標について教えてください。

答 すべての町民から「住んで良かった」、「住み続けたい」と言ってもらえるまちづくりを目指しています。第五次中井町総合計画では、「水と緑、人がきらめく住んでみたいまち」を町の将来像としています。中央公園の利活用や、企業誘致等の土地の有効利用、教育環境の充実など、町外に住む人たちが「中井町に住んでみたい」と言うような魅力あるまちづくりをしていきたい。

町の開発と自然保護について

峯尾悠佑 議員

問 町の開発と自然保護のバランスをどのように考えていますか。

答 神奈川県の規定により、グリーンテクナカイの企業敷地では20%から50

%の緑地が、敷地内に確保されています。また、中井町では、水道水はすべて地下水を利用していることから、自然と調和したバランスの取れた土地利用を進めるために、土地利用計画書を策定し、無秩序な開発を規制しています。

地方交付税について

林翔一朗 議員

問 中井町は地方交付税交付金をいつ頃からもらっていないのか。また、もっていないという事は、収入増だと思いが、その具体的な内容を教えてください。

答 平成4年度から不交付団体になり、交付税を受けていません。グリーンテックなかいの開発により、法人町民税や固定資産税が大きく伸びたことが大きな原因になっています。

地方債について

小清水菜摘 議員

問 中井町には地方債の発行がないと聞いていますが、足柄上郡の他の町はどうなのでしょう。

答 平成15年度から一般会計で地方債の発行をしていません。また、昨年度同じように一般会計で地方債の発行をしていない市町村は、県内では清川村だけです。しかし、中井町で



再質問に答える尾上町長

た、地上アナログ放送が受信できた地域は地上デジタル放送も受信できるように、国からテレビ局に指示が出ていますので、必要であれば電波塔の町内への設置も要請していきます。

も過去に、多額の地方債を発行しましたので、一般会計では約30億円の地方債の残額を毎年計画的に返済しているのが現状です。

再質問 30億円ある地方債を毎年どれくらい返済しているのか。

答 毎年、約3億円程度返済しています。

再質問 近々、地方債を発行するよう大きな開発は予定していますか。

答 平成19年度に井ノ口保育園を新築移転することになっており、地方債を発行します。

携帯電話サービスや地上デジタル放送について

杉山順子 議員

問 快適な生活を送ることは町民の願いです。北田地区の携帯電話の感度が悪いそうですが、なんとかならないでしょうか。また、地上デジタルテレビが見られるように、中井町に電波塔を建てられないでしょうか。

答 携帯電話の電波を中継する装置や基地局の設置は、免許を与えられた携帯電話会社にしかできないので、早く改善されるよう要請していきます。また、地上アナログ放送が受信できた地域は地上デジタル放送も受信できるように、国からテレビ局に指示が出ていますので、必要であれば電波塔の町内への設置も要請していきます。

総合体育館の建設について

吉野広哲 議員

問 総合体育館のような多目的施設の建設予定はないのでしょうか。

答 住民が望み、住民生活の向上になる施設として、町でも前向きに検討してきましたが、莫大な建設費や維持費がかかることと、将来の町の財政状況をみて、当分の間、総合的な体育館の建設計画は凍結し、現在使われている学校体育館などの施設を有効利用していきたいと考えています。

町の行政関係者の収入について

嶋田 湧 議員

問 中井町の町長、助役、収入役、そして、議長や議員の年収はどれくらいなのでしょう。

答 町長の年収は、約1410万円、助役は約1170万円、収入役は約1080万円です。また、議長の年収は約600万円、議員は約430万円です。なお、民間企業のボーナスにあたる期末手当を町長が20%、助役が10%、収入役が5%減額(平成18年6月時点)しています。(※)

再質問 なぜ町長と議長に格差があるのですか。

答 町長・助役・収入役は常勤特別職として、毎日役場にきて仕事しています。また、議長・議員は非常勤特別職として、定例議会や臨時議会、委員会など、必要がある時に出席して仕事をしています。このような差が、町長・助役・収入役と議長・議員にはあり



再質問に手を挙げる嶋田議員

再質問 他の市長や町長と比べて、中井町長の年収は平均的な額なのでしょうか。

答 足柄上郡5町の町長の月額給与と比較すると、中井町長は79万6千円以下から2番目です。

※11月28日に開かれた臨時議会で、「中井町長の期末手当の特例に関する条例」の制定案が可決され、尾上町長2期目4年間の期末手当は20%減額されることになりました。

町長さんの仕事について

関野美咲 議員

問 町長は日頃どのような仕事をされているのでしょうか。

答 一番大切な仕事は、町民誰もが住みやすい町にするために計画をつくり、目標を決めて実行に移していくことです。将来の町の姿を描きながら、町民の皆さんが必要とする事業は何か、それをいつ、どのようにして、どれだけの費用をかけて行うかなどを判断して、的確に実施することが重要な